

令和3年5月 高千穂高校だより 号外

令和3年5月20日

「集大成しゅうたいせいの高校総体が間近」

校長 佐伯 浩 美

例年より早い梅雨入りです。時折雨の合間に見せるお天童様は、生徒達の笑顔と同様に心が元気になります。一方新型コロナウイルス感染症は、衰える気配は見あたらず、感染防止に配慮した窮屈な学校生活や行事がしばらくは続きそうです。

さて、92名の新入生と私を含め10名の新たな職員が加わり、令和3年度がスタートして2ヶ月が経とうとしています。これまで年度当初の計画通り、感染防止に配慮しながら入学式、PTA総会、クラスマッチそして中間テストなど校内行事を行ってきました。しかし、ゴールデンウィーク後、新型コロナウイルス感染者が県内でも増加傾向に転じ、宮崎県独自の非常事態宣言が出され、校内外の行事に大きなしわ寄せが出てきました。

PTA総会欠席者集会の中止を皮切りに、19日に来賓をお迎えし校内で大々的に開催を予定していました昨年度末完成の「ICT街づくりLabo」オープニングセレモニーは延期に、そして、部活動生の集大成である宮崎県高校総合体育大会は、社会状況を考えながら関係者のご尽力で、延期開催の方向で最後の調整が行われているようです。今年の体育大会は、熱中症を考慮して6月12日に予定していましたが、高校総体の延期にともない昨年同様9月の初旬に開催することにしました。高校総体次第では、6月末予定の期末テストの日程も気になるところです。

最後に「集大成」の語源について記します。「多くのものを一つにまとめること、またそのもの」という意味です。この「集大成」は、もともと孟子が孔子について述べた言葉に由来するそうです。孟子は、中国戦国時代の有名な儒学者で、孔子は中国春秋時代の思想家です。孟子は、孔子について「たくさんの徳を集めて大成した聖人である」と評価したそうです。ここから「集大成」という言葉がうまれました。集大成である県高校総体、単に技術を追い求めた人よりも、たくさんの徳を積み重ねる努力をしてきた人に勝利の女神は微笑みそうですね。これからの進路目標を達成するのも、学力を付けることは当然のことですが、徳もしっかりと積みかさねてきた人が受験に失敗をしないで、ここ一発に力を発揮しそうですね。高千穂高校を代表する選手として出場する皆さんの健闘を祈ります。

高千穂高校ならではの、魅力ある学びが、新たに加わります。

1. 新時代へのみやざき高等学校教育魅力化推進事業

目的：中間山間地域の高等学校の魅力を高め、地理的制約を超えた多様な学びを提供するため、遠隔・オンライン授業の活用による教育実践、他校との交流や地域資源を活用した人材育成の取組を推進する。

内容：ア、高千穂高校と延岡高校の遠隔・オンライン授業の実践と体制整備

イ、ICT活用した授業の構築と指導力向上のための研修会の開催

ウ、SDGsを視点とした学びの成果研究実践発表・交流会の開催

2. 産業教育の充実に向けた教育措置整備事業

目的：職業系学科に設置している老朽化した装置等の更新や新学習指導要領・技術革新に対応した最先端装置の導入により、職業系学科の授業内容の充実を図るとともに、より高い専門力・技術力を持った生徒の育成につなげる。

内容：生産流通科 スマート農業に対応するための実習環境の整備 草花・野菜施設栽培システムの導入
経営情報科 未来を支えるビジネス教育実践のための実習室の整備 ハイスペックパソコン導入